



鼓ヶ浦地区 地域計画

2020~2023

発行 鼓ヶ浦地区まちづくり協議会

2020年3月



はじめに

はじめまして。鼓ヶ浦まちづくり協議会会長の巻重雄と申します。

まちづくりに関わるようになり、2年余りが経過しました。当初、まちづくり協議会設立準備委員会でスタートし、手探り状態で本日に至りました。

これまでの2年間は、自治会や鼓ヶ浦で活動する団体等が集まり、「住みよいまち」とはなにかを話し合い、それと並行して全住民を対象としたアンケートを実施することで住民の皆さん一人ひとりの声を聞いてまいりました。それらの活動をとおして、海と川に囲まれているこの地域で有事の際に対応できるよう、住民一人ひとりの「自分の身は自分で守る」という自助の意識を高めながら、住民同士が「お互い様の気持ちを持って活動する」共助の輪を広げる活動が必要であることが分かりました。

一人の力ではできないことであっても、地域みんなで協力するとできるかもしれないことがたくさんあるのではないかと感じています。

住民一人ひとりや団体が連携・協力しながら活動し、住みよいまち鼓ヶ浦を共につくりましょう。

鼓ヶ浦地区まちづくり協議会
会長 巻 重雄



地域計画とは

「地域計画」とは、住みよい地域を作っていくために、鼓ヶ浦の地域住民や団体で作成した計画です。

鼓ヶ浦まちづくり協議会では、鼓ヶ浦地区の状況を把握し、整理しながら「住みよい地域」とは何かを考え、意見交換を行い、地域で取組む課題の解決方法や地域を元気にする方法をまとめました。

2020年度から2023年度の4年間で、地域計画に沿った取組を行います。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。





鼓ヶ浦地区の目標



地域内の関係機関・団体が連携を持ち、住民の理解と協力を得て、連帯感のある安全・安心で豊かな住みよいまちづくりを目指します。鼓ヶ浦では、3つの専門部会を設けて、住みよいまちを目指して取組を行います。



助け合いの輪を広げる部会



地域の助け合いの仕組みを検討し
『思いやりのまち鼓ヶ浦』を目指します。



健康寿命アップを目指す部会



地域の健康寿命を延ばす取組について検討し
『元気なまち鼓ヶ浦』を目指します。



地域の絆を深める部会



地域の絆を深め
『顔の見えるまち鼓ヶ浦』を目指します。



鼓ヶ浦地区について



◇世帯数

約 1,800 世帯

◇人口

約 4,000 人

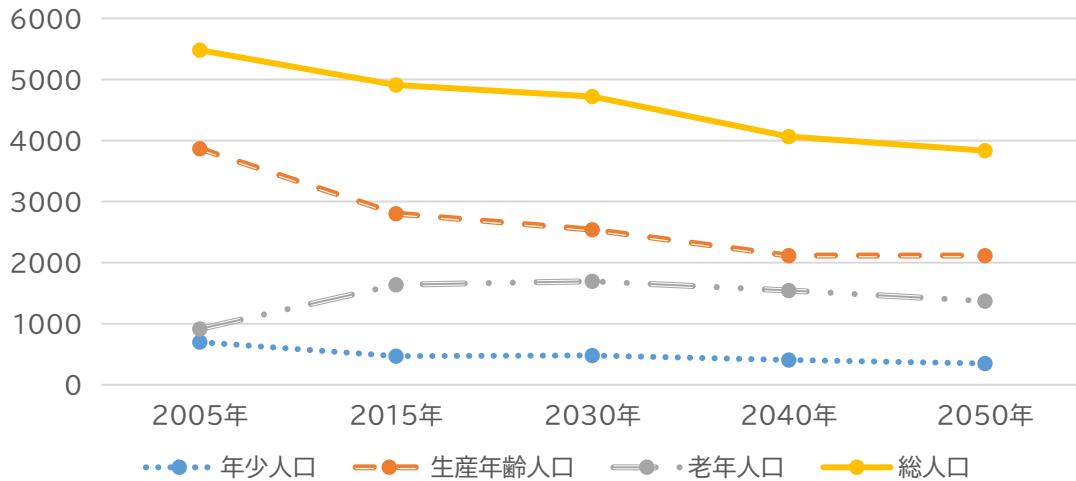
◇地名の由来

打ち寄せる波音が『鼓を打つ音』
に聞こえたことからついたとい
われている。



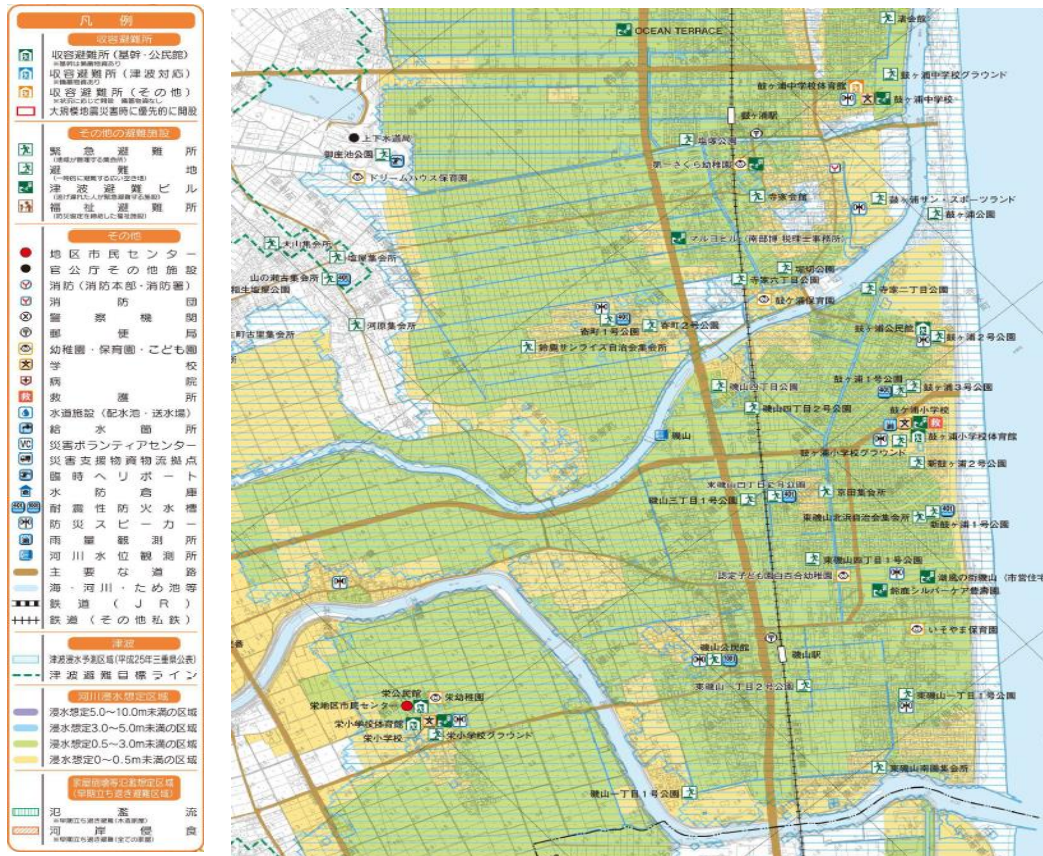
■ 鼓ヶ浦地区の人口推計

人口が減少し、高齢者が増加することによって、2050年には、鼓ヶ浦の3人に1人が65歳以上の高齢者になると予想されています。(地域カルテより)



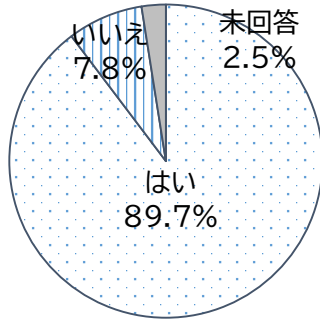
■ 鼓ヶ浦地区の防災マップを確認しましょう

海と川に囲まれた鼓ヶ浦地区は、津波や浸水の危険があると行政から発表されています。自分と家族の命を守るために、今一度防災マップを確認しましょう。(防災マップは、市のホームページから確認することができます。)

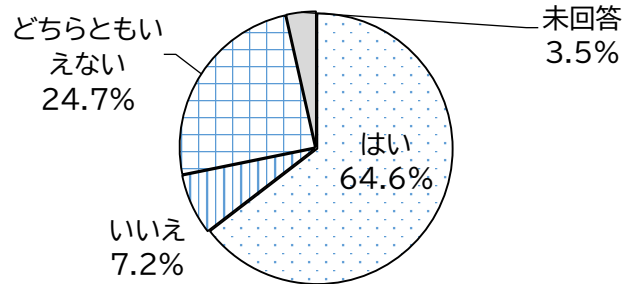


■ 住民の意識(アンケート結果より)

Q. 一人で、又は家族の手助けを得て
近くの丈夫な高い建物に避難できますか？

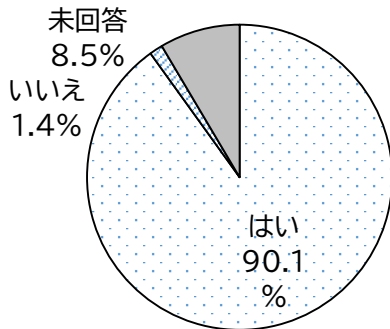


Q. 避難するときに時間的余裕があれば
困っている人を助けていいと思っていますか？

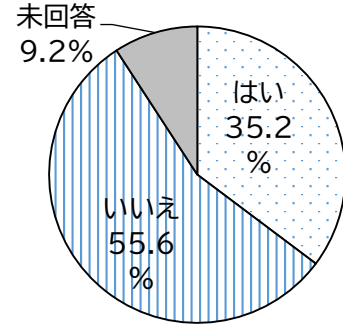


多くの方が、避難できると回答された一方で、
避難することが難しいと答えた方もいました。

Q. 老後、生きている間は自分の足で歩き、
自分のことは自分でやりたいと思っていますか？

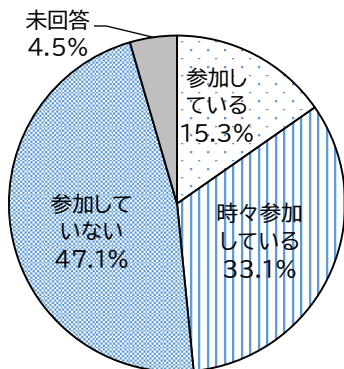


Q. 今現在、身体やこころの衰えを不安に感じて
いますか？

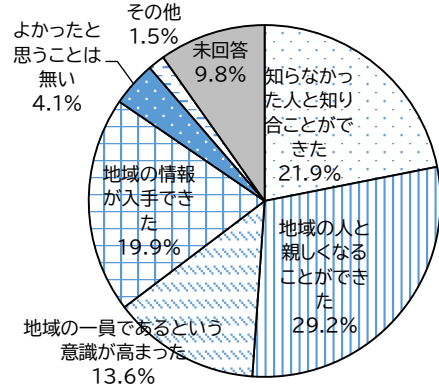


90%を越える人が、自分のことは自分でやりたいと考えている一方、
35%の人が身体やこころの衰えを感じています。

Q. 地域の行事に参加していますか。



Q. 地域の行事に参加してよかったことは何ですか？



約半数の方が地域行事に参加していただいています。
行事に参加することにより、地域の絆が深まることが分かります。

■ 鼓ヶ浦の資源(アンケートとワークショップ結果より)



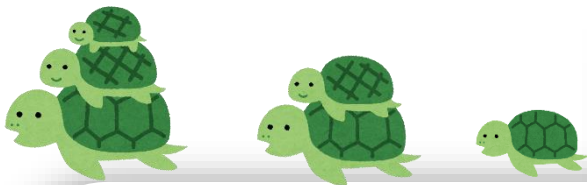
鼓ヶ浦のいいところ

- ◇健康に対する意識が高い方が多い。
- ◇家族の中で災害時の避難場所を共有している方が多い。
- ◇助け合いの意識がある。
- ◇ウミガメが来る砂浜がある。



鼓ヶ浦の課題

- 津波や川の氾濫の危険がある。
- 災害時の避難場所が遠い。
- 地震と水害で避難場所が違うために分かりづらい。
- 階段や細い道が多い。
- 高齢化率が高い。
- 空き家が多い。
- 住民によって防災意識にばらつきがある。
- 昔より、地域のつながりが希薄になっている。
- 昔より、地域のふれあいが少ない。



海浜で遊ぶ様子



公民館文化祭の様子





分野別の取組方針



災害時に助け合える仕組みづくりを目指します。



～助け合いの輪を広げる部会～

《災害時助け合いマップ》の作成をとおして、住民一人ひとりが、自助と共助の必要を改めて考え、地域全体の助け合いの仕組みづくりを目指します。

- 具体的な取組予定○●
- ・災害時助け合いマップの作成
- ・マップを活用した防災避難訓練の実施



健康寿命の延伸を目指します。

～健康寿命アップを目指す部会～



災害時に避難できる体づくりや、地域で笑顔で交流できる体づくりのための取組を行います。

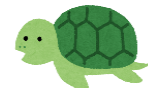
健康状態と要介護状態の中間状態である《フレイル》状態にならないように、現在の自分の体について知り、維持するための学習・運動の機会を作ります。

- 具体的な取組予定○●
- ・健康体操等の実施
- ・栄養に関するセミナーの実施



地域コミュニケーションの活性化を目指します。

～地域の絆を深める部会～



人と人とのつながりが感じられる、住んで良かったと思える鼓ヶ浦にするための取組を行います。

そのために、地域の皆さんの声を聞きながら地域全体で集える行事を検討していきます。

- 具体的な取組予定○●
- ・夏祭りの拡充

上記の方針に基づいて、鼓ヶ浦地区は
住みよいまちを目指して地域づくりに取り組みます。
ぜひ皆様の御協力をお願いいたします！